

イマ!

知っておきたい政策立案手法を学ぶ!

政策デザインゼミナール

「エフェクチュエーションによる 人口減少社会の地域づくり」

エフェクチュエーションは、優れた起業家に共通する意思決定プロセスを体系化した経営学における理論のひとつです。地域政策の専門家から、ゼミナール形式で公共経営における最新の政策立案の手法を学びます。

講師

多摩大学経営情報学部 教授

中庭 光彦 氏

—講師プロフィール—

専門は公共政策論、地域政策論、観光まちづくり等。人口減少期における地域政策の手法研究を進めている。

多摩地域の自治体(八王子市、多摩市等)や企業等で各種委員を歴任され、自治体がおかれている現状や地域課題の的確な把握とその解決手法、今後の展望について造詣が深い。



【日程】全6日間

7/12(金)、7/26(金)、9/6(金)、10/4(金)、11/1(金)、11/22(金)

※10/4(金)は半日の講義です。

※上記日程のほか、半日間のフィールドワーク(インタビュー)を実施します。

【場所】東京自治会館 【対象】原則として在職5年以上の職員

こんな悩みを抱えている方

- ✓何か始めたいけど何をすればよいかわからない
- ✓限られた人員・予算でどう施策を立案するか悩んでいる
- ✓すべき事はわかるけど失敗を考えて躊躇してしまう
- ✓挑戦してみたけど全く思ったとおりに進まない

エフェクチュエーションは、新しいチャレンジに取り組む際に直面する問題に対して大きく見方を転換してくれます。



募集締切:6/21(金)

申込は各団体の研修担当へ



東京都市町村職員研修所